

平成29年飛沫会総会議案

平成29年8月26日

議案の主旨

飛沫会は、「会員相互の親睦を深めると共に、岡山大学ヨット部との交流を図り、その活動を支援すること」を目的としており、現役ヨット部員の活動支援は本会の活動の大きな柱の一つであります。

しかしながら、会費の納入率が低いこと、臨時の支援金の多くが古い世代に頼っていること、大学からの金銭的補助の獲得が困難になってきていることなどの問題があり、このままでは、今後、ヨット部への活動支援は先細りしてしまうのではないかと危惧しています。

そこで、会長以下の役員世代交代を行うとともに、特に若年層の会員が積極的に参画できる環境づくりを進めることで、人材面、資金面の両面での現役支援を充実させたいと考えます。

【議案1】新役員案について

- (1) 会 長 第31代 富田 博 (キッパン)
- (2) 総 務 第32代 林 恭生 (ホーケイ)
- (3) 副総務 第48代 小林 伸行 (シャカン)
- (4) 会 計 第37第 奥谷 修一 (チクビ)

- (参考) 関東支部長 (副会長) 第30代 山下 珠美 (タマ)
- 中国支部長 (副会長) 第32代 天野成士郎 (コケマツ)

【議案2】飛沫会会則の改正案について

(1) 改正の目的

現役ヨット部員に対する支援をより活発化するために、新たに各代に理事をおき、役員会の構成員として重要事項の審議・決定に携わることができるようにする。このことによって、現役に近い若い世代の意見を反映しつつ、意思決定への参画を可能にするとともに、飛沫会活動に積極的な会員の掘り起しを図る。

(2) 改正の内容

- (ア) 第7条第9項に、「岡山大学ヨット部に在籍した者の中から、各代に理事をおく。」を追加する。
- (イ) 第8条に規定する理事会を「役員会」の名称に改める。

(ウ) 第8条第2項に規定する役員会の構成員に「理事」を追加する。

(3) 今後の進め方

各代で選出した者もしくは主将を理事とし、会長をはじめとする役員会構成員名簿を整えるとともに、会員各位に報告する。

また、毎年1月第4土曜日に開催している役員会に招集する。

【議案3】 年会費等納入の簡素化について

(1) 年会費等納入の現状

長年に渡り、年会費等の納入については、振込用紙を同封した依頼書を郵送して振り込んでもらうようお願いしていたが煩雑さもあって納入等が低迷していたため、平成28年度から年会費等の口座振替による自動引落しを導入しているものの、認知度が低い状況。

(2) 口座振替による自動引落しの推進

平成28年度から導入している年会費等の口座振替による自動引落しを推進して、会員の振込手間の解消とともに、年会費等の納入率の向上による飛沫会会計の安定化を図る。

併せて、各支部が担っていた年会費などの徴収等の事務を本部会計に一元化する。

【議案4】 情報発信の効率化について

(1) 情報発信の現状

これまで飛沫会としての情報発信は紙媒体で行っており、通信コストの縮減を図るために、岡山大学ヨット部の活動報告と共同で発送するなど、できるだけ集約するようにしている。しかし、時間が経過して、新鮮な情報を新鮮な内に届けることができないことがままある状況。

(2) メール発信の導入

希望者を対象にしたメール配信による情報発信を導入し、タイムリーな情報発信と通信コストの縮減を図る。

併せて、各支部が担っていた郵送等の事務を本部総務に一元化する。

以上、議案1～4は総会において賛成多数で可決

【議案5】 その他

(報告) 近畿・東海支部は次回理事会を目途に役員交代予定